

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすまいるきっず（保育所等訪問）		
○保護者評価実施期間	R8年1月26日		～ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R8年1月26日		～ R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○訪問先施設評価実施期間	R8年1月26日		～ R8年1月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	児童7名 6施設	(回答数) 6施設
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者ニーズ、訪問先ニーズに応じて保育や授業の中で一緒に考えて対応しています。	アセスメントを行い、ご利用状況に合わせて訪問先の方針を尊重した手立てを考えるようにしている。	関係機関と連携し、これまで以上にチームで支援にあたる意識を作っていくよう努めます。
2	専門的な知識を有した職員が支援を行っている。	専門性が高められるよう外部研修などの機会をつくっている。	ニーズに応じて多職種や職員間で検討を行い、支援に活かしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の都合に合わせた支援日の設定の難しさがある。	利用児の体調不良による休みや行事等訪問先の都合も考慮し日程の調整が必要であるが、他の訪問などと重なり調整が難しくなる場合がある。	これまで通り1日で複数個所の支援をするなど調整しつつ、状況に応じて訪問時間を午後行うなど柔軟な対応を検討していく。